



2024年5月8日

各 位

会 社 名 世紀東急工業株式会社  
代表者名 取締役社長 平 喜一  
コード番号 1898 東証プライム  
問 合 せ 先 常務執行役員財務部長 川野 隆紀  
TEL. 03-6770-4020

個別決算における特別損失の計上  
および2024年3月期個別業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別決算における特別損失を計上するとともに、2024年2月6日に公表した2024年3月期通期個別業績予想と本日公表の実績値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 個別決算における特別損失の計上について

米国ガムの当社100%出資の連結子会社STK PACIFIC CORPORATIONにおいて、事業環境から今後の事業の見通しを慎重に検討した結果、撤退することを決定しました。これにより関係会社株式評価損43百万円および関係会社貸倒引当金繰入額430百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、個別決算における関係会社株式評価損および関係会社貸倒引当金繰入額は、連結決算上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 2024年3月期通期個別業績予想と実績値との差異

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	88,000	4,400	3,030	83.08
実績値 (B)	83,705	3,782	2,087	57.25
増減額 (B-A)	△4,295	△618	△943	—
増減率 (%)	△4.9%	△14.0%	△31.1%	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	87,676	2,400	1,028	28.04

3. 差異の理由

売上高については、工事受注および舗装資材製造販売事業は順調に推移しているものの、一部の工事の進捗が遅れていること等により当初想定を下回る結果となりました。

利益については、完成工事高および舗装資材製造販売事業における出荷数量の減少等により経常利益が当初想定を下回る結果となり、また、上記「1. 個別決算における特別損失の計上について」に記載の特別損失を計上したこと等により、当期純利益においても当初想定を下回る結果となりました。

以 上